

施策評価調書(1)

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

めざす姿	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”
施策名	5 地域資源の活用
施策関係課	(市長室)広報課／(経済部)産業労働政策課・SKIPシティ整備室・産業振興課・グリーンセンター／(教育総務部)文化財課

●施策の基本方針(目標)
本市が持つ多種多様な魅力と誇りを育み、市内外に発信していくことで、多くの交流や活動を生み出し、まちを元気にしていきます。

●目標指標							
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:Ⅲ-5)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)	現状値	35.0(令和2年度)		指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	32.200	0.000				
指標②	名称	記者会見・記者懇談会資料提供件数				単位	件
	目標値	40(令和7年度)	現状値	33(令和元年度)		指標の種別	活動
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	23.000	0.000				
指標③	名称	川口市公式Twitterフォロワー数				単位	人
	目標値	10,000(令和7年度)	現状値	2,365(令和元年度)		指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	5,635.000	0.000				
指標④	名称					単位	
	目標値		現状値			指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値		現状値			指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度計画額	令和6年度計画額	令和7年度計画額
	事業費	1,517,460	1,476,009	3,308,318	0	0
	概算人件費	172,627	151,844	153,384	0	0
	総事業費	1,690,087	1,627,853	3,461,702	0	0

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 56	単位施策② 52	単位施策③ 56	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			54.7	

施策評価調書(2)

評価対象年度 令和3年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (予算額)	令和5年度 事業費 (計画額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和3年度の 総評価	令和4年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
観光事業	経済部	21,392	21,004	21,004	0	0	54	現状維持で実施
	産業振興課	13,904	0	0	0	0		
地域物産館施設管理費	経済部	4,193	5,947	5,947	0	0	54	現状維持で実施
	産業振興課	2,686	2,618	2,618	0	0		
グリーンセンター再整備事業	経済部	1,246,922	1,144,941	3,012,000	0	0	60	拡充して実施
	グリーンセンター	39,500	38,500	38,500	0	0		
シティプロモーション事業	市長室	35,406	34,675	34,675	0	0	56	現状維持で実施
	広報課	11,455	11,165	11,165	0	0		
その他広報事業	市長室	10,901	11,128	11,128	0	0	56	現状維持で実施
	広報課	5,135	5,005	5,005	0	0		

単位施策名 ② 歴史的資源の保護と活用								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (予算額)	令和5年度 事業費 (計画額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和3年度の 総評価	令和4年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
歴史的建造物施設運営費	教育総務部	8,612	8,901	8,901	0	0	56	現状維持で実施
	文化財課	3,476	5,005	5,005	0	0		
歴史自然資料館施設運営費	教育総務部	18,429	17,951	17,951	0	0	54	現状維持で実施
	文化財課	1,738	1,463	1,463	0	0		
史跡等管理事業	教育総務部	77,122	20,258	21,687	0	0	48	現状維持で実施
	文化財課	3,950	3,850	3,850	0	0		
赤山城跡保存整備事業	教育総務部	20,807	48,178	21,114	0	0	54	現状維持で実施
	文化財課	3,950	3,850	3,850	0	0		
遺跡発掘調査事業	教育総務部	7,876	10,103	10,103	0	0	56	現状維持で実施
	文化財課	26,860	24,640	26,180	0	0		
民俗文化財等調査事業	教育総務部	6,869	6,997	6,997	0	0	42	現状維持で実施
	文化財課	13,430	13,090	13,090	0	0		
文化財センター施設運営費	教育総務部	1,718	1,807	1,807	0	0	48	現状維持で実施
	文化財課	4,266	2,926	2,926	0	0		
郷土資料館施設運営費	教育総務部	6,296	7,097	7,097	0	0	56	現状維持で実施
	文化財課	8,927	10,626	10,626	0	0		
その他文化財保護費	教育総務部	3,322	1,050	1,050	0	0	56	現状維持で実施
	文化財課	3,160	3,080	3,080	0	0		
古文書資料収集保管事業	教育総務部	277	282	282	0	0	50	現状維持で実施
	文化財課	6,590	2,002	2,002	0	0		
古文書解説事業	教育総務部	2,154	3,029	3,029	0	0	54	現状維持で実施
	文化財課	1,954	924	924	0	0		

単位施策名	③ SKIPシティを活用した地域の活性化							
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (予算額)	令和5年度 事業費 (計画額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和3年度の 総評価	令和4年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
映画祭関連事業	経済部	17,350	25,000	25,000	0	0	56	拡充して実施
	産業労働政策課	3,871	5,775	5,775	0	0		
NHK跡地整備事業	経済部	27,814	107,661	98,546	0	0	56	拡充して実施
	SKIPシティ整備室	17,775	17,325	17,325	0	0		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	観光事業				担当	経済部	
						産業振興課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	259-9018	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施					
根拠法令等	地域資源活用事業補助金交付要綱、川口まちかど観光案内所事業実施要綱、川口宿鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり実行委員会補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市外からの観光客及び市民		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	本市に特徴のある様々な地域資源(観光資源)を活用した観光振興に取り組むことで、魅力ある訪れたいまち、選ばれるまちの実現を目指す。		・観光PR促進事業・地域資源を活用した事業への団体補助金・歴史的財産を活用したイベントである「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」の準備、PR・まちかど観光案内所事業	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・観光ルートマップ総合版、各ルート等の配架施設の増加。・地域資源(観光資源)を活用した事業を行う地域団体に対し、対象経費の50%(上限200,000円)を助成。・川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり 秋絵巻の代替案として、「御成道をテーマに川口市をPRする映像作品」を制作し、オンライン配信をした。		川口の観光地点をウォーキングルートとして結ぶ11種のマップを各所へ配架し、更には、映像作品「ロード・オブ・ONARI〜未来へつなぐ想い〜」の配信にいたっては、市内外の方へ川口市の魅力をPRすることに寄与した。また、配架施設を増加し、配送業務を委託することで、ルートマップを手にする機会を拡充した	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	地域資源活用事業補助金交付件数				指標・目標値の説明(算定式)	地域資源を活用した事業を行う地域団体への助成。					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		7.00		7.00		7.00		7.00		7.00		
	実績値・達成状況	5.00	未達成	1.00	未達成	6.00	未達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		7 款	1 項	2 目	4 細目	1 細々目	観光事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		10,377		7,158		24,511		21,004		21,004
決算額(B)=(C)+(D)		8,130		3,891		21,392				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	8,130		3,891		21,392		21,004		
概算人件費(E)		14,220		13,904		13,904		0		0
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.80	0.00	1.76	0.00	1.76	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		22,350		17,795		35,296		21,004		21,004

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 ／60	観光物産協会、商工団体、緑化団体、商店街等と協力・連携し、地域資源を活用する事業を展開する必要がある。発展した事業を展開するため、情報共有・収集に努め、連携した事業展開を目指す。また、今後の日光御成道まつりの中止が決定したことから、新たな生活様式に沿ったイベント等の企画を策定していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	地域物産館施設管理費			担当	経済部	
					産業振興課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	259-9018	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	29	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施					
根拠法令等	赤山歴史自然公園内地域物産館貸出要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等		市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	イイナパーク川口の賑わいの拠点として、地場産農産物の販売などを行い、地域の振興を図る。		地域物産館を集客性の高いイベントやワークショップを開催する使用者に貸し出すことにより、市内外から訪れる利用者の憩いの場所となることで、地域コミュニケーションの活性化に繋げる。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	地域物産館のPRに繋げるため、集客性の高いイベントやワークショップを開催する使用者に貸出した。		地域コミュニケーションの活性化に繋がった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	地域物産館貸出日数			指標・目標値の説明(算定式)	地域物産館(こもれびラウンジ・こもれびホール・グリーンマーケット)における貸出日数				
	単位	日	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		43.20		43.20		43.20		85.00		85.00
	実績値・達成状況	40.00	未達成	5.00	未達成	85.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	7 款	1 項	2 目	6 細目	1 細々目	地域物産館施設管理費			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	4,805	5,238		4,665		5,947		5,947		
決算額(B)=(C)+(D)	4,027	4,220		4,193						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	4,027		4,220		4,193		5,947		
概算人件費(E)		2,686		2,686		2,686		2,618		
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.34	0.00	0.34	0.00	0.34	0.00	0.34 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		4,027		4,220		6,879		8,565		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	令和4年度川口ハイウェイオアシス開業に伴い、イイナパーク川口への人流増加が見込まれるため、地域物産館が常に賑わう策が必要である。そこで、指定管理者制度の導入を検討しており、スムーズに運営が始められるように準備を進める必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	グリーンセンター再整備事業				担当	経済部	
						グリーンセンター	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	元	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等		市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	施設の老朽化や市民の利用ニーズ、社会状況の変化等に対応した施設の再編を図る。		活性化基本計画に基づく園内の施設再編やインフラの再整備。防災拠点の機能強化となるオープンスペースの拡充や防災関連施設の導入等。収益や集客の向上を目的とした管理運営形態の構築。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	第1期及び第2期整備事業に係る基本・実施設計や地質調査、用地測量等の委託業務。第1期整備事業となる植栽工、施設整備工等。		第1期整備事業については、園内でも運営に支障が出ているエリアであり、早期に安全性の確保が必要のため、工期短縮を図りつつ、効率的で合理的な設計・施工の実施を行い、令和3年度に第1期整備事業は完了した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	5 目	2 細目	3 細々目	グリーンセンター再整備事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		0		882,864		1,947,753		1,144,941		3,012,000
決算額(B)=(C)+(D)		0		432,421		1,246,922				
財源※	特定財源(C)	0		308,000		778,986		487,320		
	一般財源(D)	0		124,421		467,936		657,621		
概算人件費(E)		0		39,500		39,500		38,500		38,500
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		0		471,921		1,286,422		1,183,441		3,050,500

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以上	15 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	受益者なし	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
60 ／60	グリーンセンターの再整備については、計画上の概算事業費として100～150億円規模の予算が必要となるため、国道交通省以外の補助金メニューの活用や財政状況による事業工程の見直し及び事業費の平準化等が必要となる。		翌年度	拡充して実施
			翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

事業名称	シティプロモーション事業			担当	市長室 広報課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7628	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	28	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民及び市外在住者		同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	若者世代の流出を阻むように市の魅力を向上させる他、若者世代の定住促進に留まらず一人でも多くの若者世代、子育て世代の人々、そして本市の伝統であるものづくり産業の担い手、操業者・起業者等を市外から本市により多く呼び込むことを目的とする。		・誘客情報サイト「1110city.com」を基盤とした情報発信・川口市マスコット「きゅぼらん」を活用したPR活動・定住促進冊子を活用した本市知名度の向上・市内外の広告ビジョン、鉄道車両内や駅構内のモニターを用いた本市PR動画の放映・イルミネーション「かわぐち光のファンタジー」(H29～)の実施など		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	・交通広告(トレインチャンネル2/21～1週間、埼玉高速鉄道4/1～)で本市PR動画を放映・川口駅周辺などにイルミネーションを設置(12/3～2/14)		広告などのメディア露出や、SNSの更新頻度を増やすことにより、本市の知名度向上が図られ、川口市公式Twitterフォロワー数の目標数値を達成することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市公式Twitterフォロワー数			指標・目標値の説明(算定式)	川口市公式Twitterフォロワー数(令和7年度末目標値…10,000人 年間増加目標値…1,240人)				
	単位	人	指標の種別	成果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		0.00		3,800.00		5,040.00		6,280.00		7,520.00
	実績値・達成状況	2,365.00	—	3,913.00	達成	5,774.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	10 目	2 細目	4 細々目	シティプロモーション事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		38,836		41,503		36,131		34,675		34,675
決算額(B)=(C)+(D)		38,272		40,751		35,406				
財源※	特定財源(C)	3,351		2,430		2,829		2,794		
	一般財源(D)	34,921		38,321		32,577		31,881		
概算人件費(E)		11,455		11,455		11,455		11,165		11,165
従事職員人数(人)		常勤	再任用	1.45	0.00	1.45	0.00	1.45	0.00	1.45 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		49,727		52,206		46,861		45,840		45,840

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	日本全体の人口減少傾向をみても、早晚ピークアウトを迎えるという危機感を持ち、数多いプロモーションの中で埋もれないようなPR方法を模索する必要がある。川口市が本来持っている多くの魅力を継続して発信するよう、従来の事業内容を強化していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

事業名称	その他広報事業			担当	市長室 広報課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7628	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	川口市掲示板等を利用し、行政情報を提供するもの。		市内の約1,000基ある掲示板の維持管理及び市発行ポスターの貼付	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	毎月1～15日、16日～月末の2回を期間に市発行ポスター等を貼付した。また、町会からの要望で随時、掲示板の新設・移設・修繕等を行った。		掲示板は市内の人目に付きやすい場所を利用して設置しており、広報効果は極めて高い。市内外に各種市政情報を提供することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	10 目	2 細目	5 細々目	その他広報事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		10,385		10,879		11,082		11,128		11,128
決算額(B)=(C)+(D)		10,333		10,828		10,901				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	10,333		10,828		10,901		11,128		
概算人件費(E)		5,135		5,135		5,135		5,005		5,005
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.65	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00	0.65 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	15,468		15,963		16,036		16,133		16,133

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	屋外での事業のため、風雨による破損やいたずら等のリスクを内包している。物理的な情報提供であるが、市ホームページとの連携を模索する等、より効果的な情報提供の検討も必要である。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	歴史的建造物施設運営費				担当	教育総務部	
						文化財課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用					
根拠法令等	文化財保護法、川口市立文化財センター設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	重要文化財「旧田中家住宅」		市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	重要文化財「旧田中家住宅」の保存・活用を行うもの。		大正期に建設された「旧田中家住宅」の文化財としての魅力を多くの人に感じてもらうための活動事業や、また、文化財を保存するため活動しているボランティア「魅がきたい」への支援などを行う。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	・一般公開及び茶室等の貸出を行った。・主催イベントを2回実施した。(端午の節供、桃の節供)・共催イベントを1回実施した。(文化イベント「常楽～伝統工芸の技と心～」)・ボランティア「魅がきたい」の活動支援を行った。		重要文化財「旧田中家住宅」を広くPRし、市民の文化財愛護精神の向上に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	旧田中家住宅来館者数				指標・目標値の説明(算定式)	過去の来館者数の推移を基に算出					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		6,000.00		6,000.00		6,000.00		6,000.00		0.00		
	実績値・達成状況	6,523.00	達成	3,115.00	未達成	3,683.00	未達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	8 目	5 細目	1 細々目	歴史的建造物施設運営費	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		17,455		9,125		8,968		8,901		8,901
決算額(B)=(C)+(D)		17,311		8,754		8,612				
財源※	特定財源(C)	4,175		0		0		0		
	一般財源(D)	13,136		8,754		8,612		8,901		
概算人件費(E)		7,900		5,530		3,476		5,005		5,005
従事職員人数(人)		常勤	再任用	1.00	0.00	0.70	0.00	0.44	0.00	0.65 0.00 0.65 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		25,211		14,284		12,088		13,906		13,906

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント中止や見学者の人数制限等の影響があり、来館者数は目標値に達しなかったが、保存活用計画に基づき、重要文化財としての魅力ある活用を図る。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	歴史自然資料館施設運営費			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用				
根拠法令等	川口市立文化財センター設置及び管理条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	歴史自然資料館		市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	歴史自然資料館の運営を通じて、市民に郷土の歴史・文化への理解を深めてもらうとともに、郷土愛の醸成の一助とする。		歴史自然資料館を運営(映像ギャラリー・展示室の一般公開、文化団体への貸出)し、企画展やワークショップを開催する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・映像ギャラリーと展示室等における常設展示を公開した。・企画展2回、ワークショップ7回、郷土資料館企画展のサテライト展示と関連イベントを実施した。		市民に郷土の歴史・文化への理解を深めてもらうとともに、郷土愛の醸成に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	歴史自然資料館の来館者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の来館者数の推移を基に算出			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
		50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	0.00			
	実績値・達成状況	58,700.00	達成	39,320.00	未達成	34,347.00	未達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	9 細目	1 細々目	歴史自然資料館施設運営費		
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
予算額(A)	25,449	21,627	18,561	17,951	17,951				
決算額(B)=(C)+(D)	25,411	20,851	18,429						
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0				
	一般財源(D)	25,411	20,851	18,429	17,951				
概算人件費(E)	3,160	3,160	1,738	1,463	1,463				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.40	0.00	0.22	0.00	0.19
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	28,571	24,011	20,167	19,414	19,414				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 ／60	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの中止や見学者の人数制限等の影響があり、来館者数は目標値に達しなかった。インターネットを活用した情報発信を行い、集客を図るとともに、旧跡赤山城跡への見学にもつながる魅力ある運営を実施する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	史跡等管理事業			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用				
根拠法令等	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・木曽呂の富士塚・赤山城跡	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	国指定重要有形民俗文化財である「木曽呂の富士塚」及び県の旧跡である「赤山城跡」の保存管理等を行うもの。	「木曽呂の富士塚」と「赤山城跡」保存整備事業区域内における樹木管理、用地施設の修理、土地の借上げ等を行う。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・木曽呂の富士塚・赤山城跡の樹木等の管理を行った。・木曽呂の富士塚・赤山城跡の修繕を行った。・木曽呂の富士塚擁壁改修工事を行った。	用地借り上げ、樹木管理、修繕、改修工事を行うことにより、本市の貴重な文化財である木曽呂の富士塚と赤山城跡の保護を図ることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	樹木管理面積			指標・目標値の説明(算定式)	国指定重要有形民俗文化財と県指定旧跡の保存管理面積			
	単位	m ²	指標の種別	結果					
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
		30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	0.00			
	実績値・達成状況	35,255.63	達成	35,255.63	達成	35,581.44	達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	2 細目	1 細々目	史跡等管理事業		
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
予算額(A)	17,883	35,259	83,830	20,258	21,687				
決算額(B)=(C)+(D)	17,736	33,568	77,122						
財源※	特定財源(C)	0	0	37,600	0				
	一般財源(D)	17,736	33,568	39,522	20,258				
概算人件費(E)	3,950	3,950	3,950	3,850	3,850				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	21,686	37,518	81,072	24,108	25,537				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 ／60	史跡の管理面積が広大で、年々市有地が増加傾向にあり、箇所に応じた樹木等の適切な管理が必要である。民間活用による工夫した管理を検討していく必要がある。また、文化財保存と見学者の安全確保のため、木曽呂の富士塚の擁壁改修工事を実施した。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	赤山城跡保存整備事業			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	2	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用					
根拠法令等	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	赤山城跡		市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	県の旧跡で本市の重要な歴史遺産である「赤山城跡」の公有地化整備を行うもの。		「赤山城跡」の保存整備をはかるため、売却要望のある土地の購入を行う。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	県指定旧跡赤山城跡の保存整備用地の購入(測量・鑑定・購入)を行った。		堀や遊歩道に面する用地の一部を購入し、史跡の保存を図るとともに、その活用に供することができることから、赤山城跡に対する市民意識の向上につながった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	公有地化			指標・目標値の説明(算定式)	旧跡の公有地化			
	単位	m ²	指標の種別	結果					
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		1,717.41		2,234.56		1,566.00		1,567.94	
	実績値・達成状況	1,887.02	達成	2,109.27	未達成	760.89	未達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	8 目	2 細目	2 細々目	赤山城跡保存整備事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		53,815		74,310		21,008		48,178		21,114
決算額(B)=(C)+(D)		53,269		59,440		20,807				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		43,300		
	一般財源(D)	53,269		59,440		20,807		4,878		
概算人件費(E)		3,950		3,950		3,950		3,850		3,850
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		57,219		63,390		24,757		52,028		24,964

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	保存整備対象地が128,502㎡と広大で、買収に長い年月を要するため、史跡の有効的な活用を検討した購入を行っていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	遺跡発掘調査事業			担当	教育総務部	
					文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用					
根拠法令等	文化財保護法、埋蔵文化財緊急調査費国庫補助要項、文化財保存事業費関係補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	埋蔵文化財		発掘調査を伴う個人住宅を建設する市民、及び各種開発に伴い埋蔵文化財範囲確認調査を必要とする市民・事業者等		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	各種開発事業に伴う、市内に所在する埋蔵文化財包蔵地を確認するための範囲確認調査や埋蔵文化財の記録保存を図るもの。		各種開発事業に伴い、市内に所在する埋蔵文化財包蔵地を確認するための範囲確認調査や記録保存のための遺跡の発掘調査を実施する。また、発掘調査により出土した遺物等の整理作業を行うとともに記録にまとめ、報告書を刊行する。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	範囲確認調査22件、及び令和2年度実施調査の整理作業と報告書を刊行した。なお、上記の件数は文化財課予算で実施したものであり、他にも開発原因者負担による調査(報告書刊行2件)を実施している。		埋蔵文化財の記録保存が図れた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	範囲確認調査の件数				指標・目標値の説明(算定式)	開発行為に伴い実施するものであり、目標値を事前に設定できない。					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		
	実績値・達成状況	21.00	—	22.00	—	22.00	—					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	8 目	3 細目	1 細々目	遺跡発掘調査事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		9,478		9,317		10,683		10,103		10,103
決算額(B)=(C)+(D)		7,400		7,668		7,876				
財源※	特定財源(C)	3,150		3,150		3,150		3,150		
	一般財源(D)	4,250		4,518		4,726		6,953		
概算人件費(E)		21,330		21,330		26,860		24,640		26,180
		従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.70	0.00	2.70	0.00	3.40	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		28,730		28,998		34,736		34,743		36,283

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	今後も、必要に応じて効果的な発掘調査を実施していく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	民俗文化財等調査事業			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	3	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用					
根拠法令等	文化財保護法、川口市文化財保護条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化財資料		市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市内に所在する民俗文化財や铸件関係資料等の文化財資料を調査し保護することを目的としている。		民俗文化財資料等について現地調査・記録を行い、収集した資料については、洗浄、メンテナンス、調査を行い、台帳に整理し、収蔵・保管する。また、文化財の現況や指定候補文化財の調査を実施する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・民俗資料の調査・収集・整理を行った。・資料の洗浄・補修・計測・写真記録・リストの作成を行った。・資料図面の作成を行った。・所蔵資料の管理を行った。・指定文化財及び指定候補文化財の調査を行った。		市内に所在する文化財の調査・記録し、また収集した民俗資料を調査・整理・記録・保管し、報告・活用することにより、市民の文化財愛護精神と郷土愛の醸成につながった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	民俗資料整理点数			指標・目標値の説明(算定式)	民俗資料整理点数				
	単位	点	指標の種別	活動						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		1,000.00		1,000.00		1,000.00		1,000.00		0.00
	実績値・達成状況	809.00	未達成	3,206.00	達成	3,357.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	8 目	3 細目	2 細々目	民俗文化財等調査事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		5,524		7,336		7,746		6,997		6,997
決算額(B)=(C)+(D)		3,884		6,362		6,869				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	3,884		6,362		6,869		6,997		
概算人件費(E)		2,370		14,170		13,430		13,090		13,090
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	1.70	0.20	1.70	0.00	1.70
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		6,254		20,532		20,299		20,087		20,087

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	7 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
42 ／60	調査員・調査補助員と連携した文化財調査及び民俗文化財資料の寄贈・収集に伴う調査・記録事業である。これらの文化財や資料は、本市の歴史や地域的特色を示すものであり、このうち重要なものについては、指定候補文化財として専門的な調査を実施したり、展示資料として活用していく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	文化財センター施設運営費			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法、川口市立文化財センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化財センター	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市内に所存する資料を文化財センターに収集・保管し、展示・活用する施設として運営するもの。	文化財資料の整理事業を実施し、活用・収蔵を行う。また市民に文化財の大切さを周知するために、文化財に関する常設展示のほか、企画展を開催する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・文化財資料の展示・収蔵を行った。・郷土資料館企画展「土の中からこんには！！～川口埋蔵文化財展～」のサテライト展示を実施した。	文化財資料の整理・保管・常設展示を行い、市民の文化財愛護精神を養う一助とした。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化財センター来館者数				指標・目標値の説明(算定式)	過去の来館者数の推移を基に算出				
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		4,000.00		4,000.00		4,000.00		4,000.00		0.00	
	実績値・達成状況	5,266.00	達成	1,161.00	未達成	1,493.00	未達成				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	8 目	4 細目	1 細々目	文化財センター施設運営費	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		2,117		1,949		1,929		1,807		1,807
決算額(B)=(C)+(D)		1,324		1,732		1,718				
財源※	特定財源(C)	192		147		186		183		
	一般財源(D)	1,132		1,585		1,532		1,624		
概算人件費(E)		12,640		12,640		4,266		2,926		2,926
従事職員人数(人)		常勤	再任用	1.60	0.00	1.60	0.00	0.54	0.00	0.38 0.00 0.38 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		13,964		14,372		5,984		4,733		4,733

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 ／60	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント中止や見学者の人数制限等の影響があったが、今後も事業内容を充実させて来館者の増加に努める。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	郷土資料館施設運営費			担当	教育総務部	
					文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	23	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用					
根拠法令等	文化財保護法、川口市立文化財センター設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	郷土資料館		市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民に郷土の歴史・民俗・文化についての理解、文化財愛護の精神を深めてもらうとともに、収蔵資料を後世に伝えるもの。		文化財資料の展示・学習会・収蔵を行う施設として郷土資料館を運営する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・企画展を2回実施(「土の中からこんにちは！！～川口埋蔵文化財展～」、「伊奈☆忠治ー利根川・荒川を開発した代官ー」)・講座を1回実施(歴史講座「代官伊奈忠治と赤山陣屋」)・小・中学校を対象に、収蔵資料等を活用した歴史教室・社会科見学を延べ156校に実施		市民に郷土川口の歴史・民俗・文化について理解を深めてもらうとともに、文化財愛護精神の高揚に寄与できた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	郷土資料館来館者数				指標・目標値の説明(算定式)	過去の来館者数の推移を基に算出				
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		3,500.00		3,500.00		3,500.00		5,000.00		0.00	
	実績値・達成状況	2,136.00	未達成	3,455.00	未達成	4,627.00	達成				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	8 目	7 細目	1 細々目	郷土資料館施設運営費	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		6,951		6,592		6,875		7,097		7,097
決算額(B)=(C)+(D)		6,411		6,250		6,296				
財源※	特定財源(C)	1,068		1,056		1,278		1,080		
	一般財源(D)	5,343		5,194		5,018		6,017		
概算人件費(E)		15,010		15,010		8,927		10,626		10,626
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.90	0.00	1.90	0.00	1.13	0.00	
								1.38	0.00	1.38 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		21,421		21,260		15,223		17,723		17,723

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	より多くのかたの来館につながるよう、常設展示や企画展等の充実を図るとともに、需要の高いオンライン事業を積極的に実施する。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	その他文化財保護費				担当	教育総務部	
						文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	元	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用					
根拠法令等	川口市文化財保護条例、川口市管理維持費交付要綱、川口市文化財保存事業費交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	指定文化財所有者、保持団体		市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	指定文化財を維持管理・修理・活用するための費用の補助金交付を行うもの。		指定文化財管理維持費、無形民俗文化財保存継承費、文化財保存事業費補助金の交付を行う。また、各協議会負担金の交付を行う。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	・指定文化財補助金(指定文化財管理維持費補助金、無形民俗文化財保存継承費補助金、文化財保存事業費補助金)の交付事業を行った。・川口市郷土史会への交付金、県文化財保護協会・県博物館連絡協議会への負担金を交付した。		指定文化財所有者・保持団体に補助金を交付したことにより、指定文化財が保護された。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指定文化財補助金交付件数				指標・目標値の説明(算定式)	文化財所有者の申請に応じて実施するものであり、目標値を事前に設定出来ない。					
	単位	件	指標の種別	活動								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		
	実績値・達成状況	32.00	－	30.00	－	31.00	－					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	8 目	8 細目	1 細々目	その他文化財保護費		
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
予算額(A)		1,320		1,347		3,715		1,050		1,050	
決算額(B)=(C)+(D)		1,198		967		3,322					
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	1,198		967		3,322		1,050			
概算人件費(E)		3,160		3,160		3,160		3,080		3,080	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,358		4,127		6,482		4,130		4,130	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	指定文化財を次世代へ継承していくうえでの課題を把握し、適切な補助金の交付と文化財保護支援を検討していきたい。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

事業名称	古文書資料収集保管事業			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	283-3552	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用				
根拠法令等	文化財保護法、川口市文化財保護条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	本市に残された古文書等の文献資料		市民及び本市の歴史に関心をもつ市外在住者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	本市の歴史を解明する上で不可欠な古文書等文献資料を調査・収集し、収集した資料を最適な形で後世に伝えと共に、資料の活用を図る。		本市に残された古文書の調査・収集・整理・保存。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・本市に残された古文書等文献資料を調査・収集し、保存処理・分類・整理・保管した。・県地域史料保存活用連絡協議会に参加した。		本市に残された古文書等文献資料を、新たに2件、693点調査・収集し、データ処理を行った。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	古文書等文献資料の収集件数				指標・目標値の説明(算定式)	所有者からの調査依頼等によって適宜行われるものであり、目標値を事前に設定できない				
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし	
	実績値・達成状況	3.00	—	6.00	—	2.00	—				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	8 目	10 細目	1 細々目	古文書資料収集保管事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		250		1,631		278		282		282
決算額(B)=(C)+(D)		248		1,411		277				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	248		1,411		277		282		
概算人件費(E)		6,590		6,590		6,590		2,002		2,002
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.60	0.50	0.60	0.50	0.60	0.50	0.26 0.00 0.26 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,838		8,001		6,867		2,284		2,284

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 ／60	古文書等の文献資料を調査・収集し、本市の歴史を明らかにする貴重な歴史史料をより良い形で後世に伝えるための事業である。保管した史料は整理を継続的に実施し、展示活用等による公開を図ることで、本市の歴史的事象・人物の顕彰に役立て市民の郷土愛育成に寄与する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	古文書解読事業			担当	教育総務部	
					文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用				
根拠法令等	川口市文化財保護条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	本市に残された古文書等の資料		市民及び本市の歴史に関心をもつ市外在住者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	本市に残された古文書資料を解読し、後世に記録として残すほか、それを活用した事業を実施し、市民及び本市の歴史に関心をもつ人に広く公開するため。		専門家に依頼しての古文書解読・古文書講座の実施。解読した古文書を史料叢書として図書刊行を行う。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・古文書資料の解読を推進した。・古文書講座を2回(初級講座、中級講座)実施した。		古文書講座参加者に、本市に残された古文書資料の重要性について広く周知することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	古文書講座の参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	開催要項において設定した募集人数			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況	30.00	10.00	74.00	74.00	0.00			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	10 細目	2 細々目	古文書解読事業		
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
予算額(A)	2,210	3,074	2,186	3,029	3,029				
決算額(B)=(C)+(D)	2,143	2,836	2,154						
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0				
	一般財源(D)	2,143	2,836	2,154	3,029				
概算人件費(E)	4,220	4,220	1,954	924	924				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.50	0.30	0.50	0.06	0.40	0.12
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,363	7,056	4,108	3,953	3,953				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策			今後の実施方向性	
54 ／60	世代交代により古文書資料解読の技能を有する人が減少しており、人材の確保と育成が課題である。古文書資料から解読できる歴史を後世に残すためにも、本事業の必要性和有効性は高いことから、さらに事業のあり方を検討していく。			翌年度	現状維持で実施
				翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	映画祭関連事業				担当	経済部	
						産業労働政策課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-258-1619	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-③ SKIPシティを活用した地域の活性化					
根拠法令等	SKIPシティ国際映画祭開催基本方針					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・映像クリエイター・映像関連産業関係者・映画祭視聴者		・映像クリエイター・映像関連産業関係者・映画祭視聴者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	・「デジタルシネマ」の裾野を広げ、新しいクリエイターを発掘する・将来本市の産業の核となる映像関連産業の育成に役立てていく		・世界中から募集したデジタルシネマの中から、優秀作品を顕彰する	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・9月25日(土)～10月3日(日)までオンラインにて映画祭を開催・映画祭実行委員会例会の開催(月1回、書面会議含む)		オンライン開催のため企画上映がない中、コンペティション部門にノミネートされた作品の視聴回数は昨年から約4%伸び、8,465回となった。また、海外応募作品数が807作品と、過去18回で最高となった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	SKIPシティ国際Dシネマ映画祭視聴者数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度のノミネート作品視聴者数(視聴回数)を上回る数				
	単位	回	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		5,149.00		5,827.00		8,142.00		8,465.00		0.00
	実績値・達成状況	5,827.00	達成	8,142.00	達成	8,465.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		7 款	1 項	2 目	2 細目	5 細々目	映画祭関連事業		
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
予算額(A)		25,000		3,800		25,000		25,000		25,000	
決算額(B)=(C)+(D)		25,000		3,800		17,350					
財 源 ※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	25,000		3,800		17,350		25,000			
概算人件費(E)		4,582		3,555		3,871		5,775		5,775	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.58	0.00	0.45	0.00	0.49	0.00	0.75	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		29,582		7,355		21,221		30,775		30,775	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	コロナの影響でスクリーン上映が不可となり、2年連続のオンライン配信となったが周知・PR活動を中心に行い、令和2年度の視聴者数を上回ることができた。今後も、コロナ情勢を見極めつつ最良の選択・PRができるよう活動する。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	NHK跡地整備事業				担当	経済部
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-258-1152	新規・継続	継続
						SKIPシティ整備室

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	11	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-③ SKIPシティを活用した地域の活性化					
根拠法令等	さいたま新産業拠点整備計画、さいたま新産業拠点(SKIPシティ)B街区利用計画、SKIPシティ利活用基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) ・SKIPシティB・C街区・旧早稲田大学川口芸術学校校舎	受益者(最終的に受益を受ける人) ・市民・市内事業者、中小企業・SKIPシティワーカー	
事業の概要	事業の目的(何のために) 映像関連産業と事業者支援機能が集まる賑わいのあるまちの形成	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) ・市が所有するB街区とNHKが所有するC街区及びB街区西側隣地の一部を交換すること。・C街区(西側)に産業支援施設を整備すること。・C街区(東側)に商業施設(物販・飲食)を整備すること。・A2街区の旧早稲田大学川口芸術学校の活用を図ること。・SKIPシティと各駅を結ぶ交通ネットワークを見直し整備すること。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・SKIPシティB・C街区の維持管理・NHKとの土地交換に向けた調整・SKIPシティ利活用検討委員会を開催・旧早稲田大学川口芸術学校校舎の寄贈受け入れに係る事務	事業の成果【定性的評価】 SKIPシティ利活用基本計画(案)を作成し、パブリックコメントを実施した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	SKIPシティ利活用検討委員会の開催回数			指標・目標値の説明(算定式)	B・C街区の利活用について検討する委員会の開催日数				
	単位	回	指標の種別	活動						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
	実績値・達成状況	0.00	未達成	5.00	達成	3.00	達成			
指標②	名称	SKIPシティC街区における施設整備進捗状況			指標・目標値の説明(算定式)	SKIPシティC街区における施設整備完了までの割合				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
	実績値・達成状況	0.00		0.00	0.00	20.00	40.00			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	7 款	1 項	2 目	7 細目	2 細々目	NHK跡地整備事業			
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算額(A)	32,997	3,753,238	34,806	107,661	98,546					
決算額(B)=(C)+(D)	32,508	3,752,978	27,814							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	5,100					
	一般財源(D)	32,508	3,752,978	27,814	102,561					
概算人件費(E)	7,031	8,216	17,775	17,325	17,325					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.89	0.00	1.04	0.00	2.25	0.00	2.25	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	39,539	3,761,194	45,589	124,986	115,871					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	・C街区(西側)施設建設に向けて基本設計・実施設計を進めること。 ・C街区(東側)活用に向けて事業者の選定を行うこと。 ・令和5年5月のNHKとの土地交換に向けて必要な手続きを行うこと。 ・A2街区の旧早稲田大学川口芸術学校校舎の活用準備をすること。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	拡充して実施